

令和3年度 政策提言

政策提言を市長に提出

私たち市民クラブは、鈴木康友市長が掲げる「浜松市戦略計画2021年の基本方針」を受け、令和3年度市政運営に対する政策提言を行いました。

令和3年度予算編成方針では、持続可能な財政運営を確保しつつ、ウィズコロナの時代における「デュアルモード社会」に対応する施策を重点的に推進していくとあります。我々はこの方針を支持するとともに、ものづくりのまち浜松の地域経済や社会を根底から支えている市民の声・意見を具体的な施策や予算に反映していきます。

会長 斉藤 清明



2020年11月9日提出

私たちの活動を紹介します!

浜松市議会 市民クラブ 検索

<http://shimin-club.jp/>



各議員から重点とすべき提言を打ち上げ

鈴木 真人

高齢者の移動の足・外出促進に向け、利用しやすい移動支援施策を



中山間地域に限らず、路線バスではカバーできない地域内での買い物や通院、ならびに外出機会創出等のためにデマンド型運行(予約に応じたルートで運行)の地域バスを導入すること。

平間 良明

再生可能エネルギー等の導入と省エネルギーの推進によるエネルギー自給率の向上を



浜松市域RE100の達成に向け、V2H(ビークルトゥホーム)設備と電気自動車の普及促進を図る為に、電気自動車を「蓄電池を搭載した自動車」とみなして家庭用蓄電池補助金を適用すること。

岩田 邦泰

バイクのふるさとにふさわしい二輪車利用環境づくりを



バイクのふるさと浜松として、街なかの空き空間を活用した小規模分散型駐車場の整備や、既存の自転車等駐車場は条例改正にて125ccまで駐車可とすること。また二輪車が走行しやすい道路環境を構築すること。

北野谷 富子

子育て世代を全力で応援するまちとして、第2子、第3子と出産を望む家庭負担の軽減を



保育料の多子軽減について、就学前までとされている多子計算に係る年齢制限を撤廃し、時代に柔軟に対応すべき。子供が何歳であれ、第1子は第1子として計算し、第2子半額、第3子以降無償化を完全実施すること。

本会議で代表・一般質問

放課後児童会の待機児童の解消を! 代表質問

質問 放課後児童会の待機児童数は毎年増え続けており、令和2年5月現在で495人となっているが、解消に向けての具体的な計画について伺う。

答弁 待機児童ゼロに向けて令和2年度と3年度の2か年で定員拡大の取組を加速し、あらゆる手段により3年度末までの待機児童解消を目指していく。



会長 **さいとう はるあき**
斉藤 清明 中区:7期

- 建設消防委員会
- 大型公共施設建設調査特別委員会
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 浜名湖競艇企業団議会議員

浜松市のマイナンバーカード活用サービスについて 一般質問

質問 マイナンバーカードはカード普及策より、市民がカード利用で受けられるサービス拡充を先行し、先に利用意識を高めることが普及の近道ではないか伺う。

答弁 カードの利便性向上は取得率向上に直結し、効果的な施策展開が可能になると認識している。まずはカードを活用した「介護ワンストップサービス」を2021年度中に導入するなどについて検討を行う。



いわた くにやす
岩田 邦泰 西区:1期

- 環境経済委員会
- 行財政改革・大都市制度調査特別委員会
- 浜名学園組合議会議員

以下の質問に向けて調査・研究中! 代表質問

- デジタル技術やデータの活用による市民生活の快適化について
- 浜松版MaaS構想について
- 浜松市域RE100の推進について
- 公文書管理及び遊休施設の活用について
- 10万人あたりの人身交通事故件数政令市ワースト1脱出に向けて
- ローカル5G導入による中山間地域の活性化について
- 悪臭規制について 他

【登壇予定】
2021年
3月10日水
11:00~



政調会長 **ひらま よしあき**
平間 良明 中区:3期

- 議会運営委員会
- 総務委員会
- 交通政策・大規模災害対策調査特別委員会
- 政務活動研究会

4

新型コロナウイルス感染予防対策と併せて、免疫の重要性を情報発信すべきでは 代表質問

質問 治療薬やワクチンなどの予防薬ができたとしても、免疫がウイルスを退治する役割を担うことから、免疫の働きや免疫力を高めることの重要性を広報はままつや市公式SNSで情報発信すべきではないか伺う。

答弁 免疫力の低下と重症化の関連が確認されており、免疫力を高めることは重要なため免疫についての知見を発信していく。(広報はままつ12月号に「免疫力を高めよう」の特集が掲載された。)



幹事長 **すずき まさと**
鈴木 真人 東区:1期

- 厚生保健委員会
- 地方創生調査特別委員会
- 養護老人ホームとよか管理組合議会議員

6

7

8

骨髄バンクについて助成制度を導入し、ドナー登録の促進を 一般質問

質問 55歳までとされる骨髄バンクのドナー登録に対し、一人でも多くの若者の登録が必要と考える。ドナーやドナーの勤務先に対して助成する制度を、本市として導入する考えはないか伺う。

答弁 全国でも新たに助成制度を導入する自治体が増え続け、本市の制度創設に期待する声も寄せられている。本市の助成制度導入の在り方については、改めて他都市の成果を調査し検討していく。



きたのや ふくこ
北野谷 富子 浜北区:2期

- 市民文教委員会(委員長)
- 大型公共施設建設調査特別委員会(副委員長)

9月定例会

10

11月定例会

12

浜松市議会本会議の様子
感染予防対策のため
アクリル板を設置しています。



1

2月定例会

3

浜松市議会 傍聴について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、本会議・委員会の傍聴を極力お控え頂いております。本会議、議会運営委員会、常任・特別委員会についてライブ中継のご利用をお願いします。会議録公開までの間は録画映像も視聴できます。

浜松市議会 議会中継 検索

スマートフォンでも視聴できます。



市民クラブは行政区再編が必要と考えます!

浜松市議会は令和2年9月28日、市議会議員全員が参加する全員協議会で実施の投票により、市議会として「行政区再編は必要」との意を表しました。私たち市民クラブ全議員は必要に票を投じています。今後は具体的な区の形やスケジュールなどの検討に入っていきますが、今までの議論を少し振り返ってみましょう。



なぜ? 行政区再編が必要なのか

今後40年で20万人以上の人口減が予想され、税収減や福祉的支出は増加。加えて総延長8500キロの道路などインフラ維持に大きなコストが必要になると予測されています。

将来を見越した行財政改革が必要。再編はその抜本的対策の1つ。

特別委員会での議論について

メリット・デメリットなどについても丁寧に議論をしてきました。例えば市民クラブではこういう風に考えています。



これから! の議論は

市民サービスのあるべき姿や、議論の前提条件となる項目の洗い出し、将来の区の形やスケジュール感などを議論していきます。

私たちの子や、孫の世代に過大な負担が生じないように、現役議員の責任として今後もしっかりと取り組んで参ります!

令和2年度に市民クラブ提案により国に提出した意見書一覧

意見書は、国や県等が実施すべき事項について議会の意思をまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに提出するものです。令和2年度は市民クラブより意見書4件が採択されました。

令和2年 6月17日提出

緊急事態宣言下での路線バスの柔軟なダイヤ変更を可能にすることを求める意見書

感染症に係る緊急事態宣言の下では、交通弱者が取り残されないことを考慮した上で、路線バスの事業者が地域事情に応じた柔軟な運航計画の変更を可能とすることを求める。



令和2年 10月16日提出

安全運転サポート車(サポカー)補助金の拡充を求める意見書

さらなる安全運転サポート車(サポカー)の普及を促進し、交通事故の削減と移動の自由が保証されるシステムの構築を急ぐ必要があることから、サポカー補助金の拡充を求める。



令和2年 10月16日提出

児童・生徒の健全育成に向けた養護教諭の複数配置拡充を求める意見書

「いつでも開かれている保健室」を全ての学校に実現し、全ての児童・生徒が安心して通い続けることができる環境の整備が早急に必要であることから、養護教諭の複数配置拡充を求める。



令和2年 12月14日提出

建設発生土に対する適切な対応を求める意見書

建設発生土の不適切な処理が後を絶たない状況に鑑み、総務省の調査結果をもとに建設発生土に対して適切に対応することを求める。



会派の活動

浜松市内全域を視察(抜粋)

“現場”、“現物”を大切にしています!

01 期待が高まる自動運転(天竜区水窪町)



中山間地におけるラストワンマイル問題の解決手段の可能性検討の一つとして、超低コストな自動運転システムの2人乗り車両の実証実験。自宅からのちょっとした移動の足として中山間地だけでなく街中での実用化も求めています。

02 スマールスマート農業に注目(天竜区春野町)



小規模で分散した農地に対応する小型IoT機材を使用したスマート農業の普及を目指した事業。ドローンによる液体肥料の空中散布の実演では、作業が極めて短時間に終了し、作業効率の高さを実感しました。今後もスマート農業に注目していきます。

03 築45年の教職住宅「水巻寮」(天竜区佐久間町)



住宅は全体的に暗く、朝一番の仕事はムカデの駆除からスタートしていることに衝撃を受けました。早急に改善するように、会派の代表質問で取り上げ「必要数に応じた教職員住宅の配置の適正化を図り、計画的な改修と適切な維持管理を実施する」と回答を頂きました。

04 阿蔵山開発に期待(天竜区二俣町)



遠州灘防潮堤造成用の土砂搬出が終了し、今後の開発が検討されています。この地は国道152号線バイパスが通過する予定であり、スマートシティ開発、研究施設など交通アクセスの良さも生かした提案を考えていきます。

05 地域内の移動をささえる予約制バス(北区引佐町)



公共施設、集会所や店舗などの身近な所161か所にバス停を設置した予約制運行バスのなおとら線は、地域内の移動の足として重宝されていました。こうした取組みを市内全域に広げていくべきと考えます。

06 天竜浜名湖鉄道の支援策が実現!



「地元小中学生への全線1日フリーきっぷ配布」事業が、昨年7月に沿線市町の小学校1年生から3年生を対象に、申し込みのあった109校21,000人に1日フリー切符が配布され実現した。

07 LED投光器(ホロライト)の可能性(中区鍛冶町)



夜間に市街地の街路樹にむらがるムクドリ対策として、浜松の光産業をけん引する地元企業が開発したLED投光器(ホロライト)を使いねぐら化を防ぐ方法を実証実験で検証しています。

08 天竜トライアルオフィス(天竜区二俣町)

市内で3番目の coworking space として開設された天竜トライアルオフィス。中山間地の玄関口に位置する二俣町での事業展開で、中山間地域全体のコミュニティが活性化され、地域課題解決のための拠点として期待しています。



09 テレワークパーク(弁天島海浜公園)

コロナ禍でのテレワーク、ワーケーション需要の高まりを受け、浜松市は市内企業と市内 coworking space で検討を重ね、車両内オフィス+公園活用の実証実験を実施。風光明媚な浜松市は首都圏を避けるワーケーションの適地であり、社会実装が望まれます。



11 五島海岸での清掃活動(南区江之島町)



海浜の清掃活動に参加し、漂着ごみ、海洋プラスチック問題を実感しました。市の取組みとともに一人ひとりの心がけが大切だと思います。

12 お盆Uターン相談会 ショッピングモール(東区市野町)



市のUターン施策が首都圏などに住む浜松出身者になかなか届かないように思い、2月定例会一般質問で市内に住む親世代に向けた相談会の実施を提案し、実施に至りました。13組の来場があり、当局は施策に対して有効と判断。今後も継続されていきます。